

みずほまちなか会議

を開催しました

まちなか会議の結果を踏まえ 町に提言書を提出

29年11月18日に「子育て環境について」をテーマとし、厚生文教委員会が、11月25日に「みずほの防災・減災を考える」をテーマとし、総務産業建設委員会がまちなか会議を行いました。

町議会では、まちなか会議の中で出された意見などを参考に両委員会で協議を重ね、3月27日に町へ提言書を提出しました。

詳細は町議会ホームページでご覧いただけます。



提言書提出（厚生文教委員会）



提言書提出（総務産業建設委員会）

厚生文教委員会からの提言書

瑞穂町の子育て環境は、地域課題や社会の変化等により年々厳しい状況になっています。今回の会議には、現在子育てを行っている保護者や関係する方々が参加され、貴重なご意見が多く寄せられました。特に児童・生徒が安心して登下校ができる交通対策が不十分であるとの意見がありました。次に不審者対策では、町も防犯カメラの設置について施策を講じていますが、満足を得るまでには至っていない事も実感させられました。また、学力向上対策につきましては、行政に対する意見は少なく、家庭での教育力やコミュニケーションが不足しているなどの意見があり、親に対する行政的な支援を望む声がありました。当委員会では、これらの意見を精査し協議を重ねた結果、内容の多岐や役割を鑑みて、以下のとおり提言します。



- 一、子どもの交通安全対策については、教育委員会を中心に各課で情報共有し、取組の状況の開示に努めること。
- 一、地域の見守り力向上のための施策を図りたい。
- 一、小学校の授業で児童の視点で作成された「地域安全マップ」の活用を図りたい。
- 一、子ども達の居場所づくりや学習環境づくりを進められたい。

総務産業建設委員会からの提言書

2011年3月11日の東日本大震災は、2万人近くの方々の命が奪われ、数多くの街々に甚大な被害がありました。瑞穂町でも2016年8月の台風9号の豪雨により、土砂崩れのほか、道路冠水は町内各地で発生し、床上浸水5棟、床下浸水15棟の多くの被害となりました。町が消防団等、関係団体とも連携し、迅速な行動をとると共に災害時の記録を残し、次につながる対応をされたことは大いに評価すると共に、担当部署の努力に敬意を表します。しかしながら、まちなか会議では、まだまだ地域ごとに抱えている課題は多く、課題解決に向けた取組、より良い環境整備を望む声が多く寄せられました。当委員会では、これらの意見を踏まえ協議を重ねた結果、以下のとおり提言します。



- 一、広域避難場所の見直しについて
広域避難所の第五小学校・瑞穂中学校は土砂災害警戒区域内であり、地震災害と風水害で、避難所を変更するという運営は、対象地区の住民が混乱を招き避難が遅れることが考えられる。また人口分布の変化等も勘案し、この地域における、広域避難所の見直しを講じられたい。
- 一、防災広報の充実について
災害が発生した場合、状況や情報を知ることは身の安全を図る上で欠かせない。しかしながら、防災無線が聞きづらい地域、メール情報をつかめない住民は多い。きめ細やかで且つ迅速に情報提供できる更なる取組を講じられたい。
また、災害時には自助、共助が必須であることから、普段からの備えが大切である。そのために、ハザードマップの配布のほかにも、災害用品のリストや揃え方などの方法などについても情報提供に努めることを講じられたい。